

1. 子どもの最善の利益を考慮した保育、子どもの主体性を尊重した教育・保育

・月1回の職員会議の他、週1回の担当ミーティングを行ない、一人一人の成長や発達、個別の状況に応じた保育内容や関わり方、環境作りについて話し合ってきた。「愛で育ち、愛で治める」保育理念の下、一人一人が自己成長力を発揮できる保育についての意識を高める中で、ミーティングの時間以外でも、保育者間で子どもの発達や保育について活発に意見を交わしたり、お互いの思いを伝え合ったりする姿が増えてきている。

今後は、パート職員も小さな気付きを共有したり、より意識を合わせたりできるように、パートミーティング等を行ない、積極的に意見を出し合えるようにしていきたい。

・子供が自己成長力、主体性を存分に発揮することができるよう、肯定的な言葉掛けをしたり、「自分でできた」という喜びを感じられるように、やってみたいと思える環境を作り、スモールステップを設定したりしながら援助してきた。

次年度も、引き続き子どもによりよく寄り添えるよう、園内研修のみならず、外部研修も活用して研修内容を共有し、園の課題を確認しながら改善につなげていく。

・保護者に日々の子どもの育ちを連絡帳（ICT）や口頭で伝えたり、写真を公開したりしている。年1回の保護者会、年1回の保育参加、年3回の保護者参加型の園行事（夏祭り、親子ふれあい会、ありがとうの会）を行なっているが、多くの保護者が参加され、アンケートでは高い評価を得ている。今後は時代の変化に応じて SNS（インスタグラム）での発信も定期的に行ない、子どもの成長を喜び合うパートナーシップをより一層築いていきたい。

2. より良い保育環境を整える

・子どもの成長や発達に合わせて環境を整備する中、設備の不具合や老朽化に伴う改修等も必要に応じて行なった。今後も事故を予防するため、安全点検や掃除の際の気付きなどを素早く共有し、安全対策を実施していく。

・保育者のノンコンタクトタイムを確保し、自分自身の気持ちに向き合い保育の振り返りを行なえるようにした。体制が安定するよう、引き続き積極的に採用を行なっていく。

3. 地域と共に

・園見学に来られる方の多くは、ホームページ等で保育内容等を見て、選んでくださっている。今後は、地域の方も気軽に参加できるモンテッソーリ等の体験保育の機会や、育児相談ができる時間帯を広く知らせ、地域に開かれた園運営を目指していく。